

平成26年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

事故概要:

自転車で走行中の通行者が、道路を横断していた片側交互通行用の信号機の電源コードのカバー（H=5cm、W=15cm）に乗り上げて転倒し負傷した。（コーン、誘導板、保安灯により注意喚起していた）

事故原因:

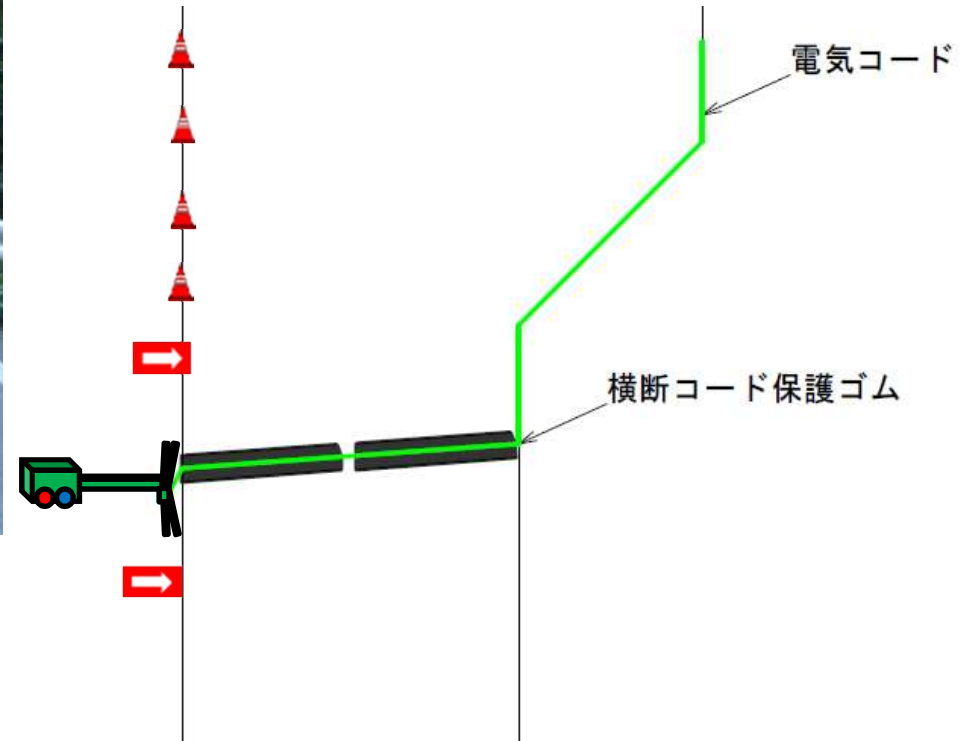
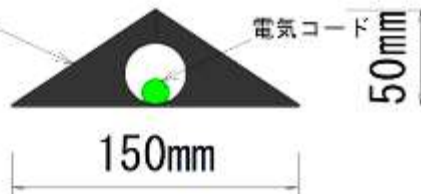
- ・通行者の不注意

改善対策:

- ・段差有り看板を設置し更なる注意喚起を行う
- ・道路の利用状況に応じた段差対策を実施する



横断コード保護ゴム



分類:安全対策、その他

被害状況:転倒による負傷

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（転倒による事故）

事故概要：

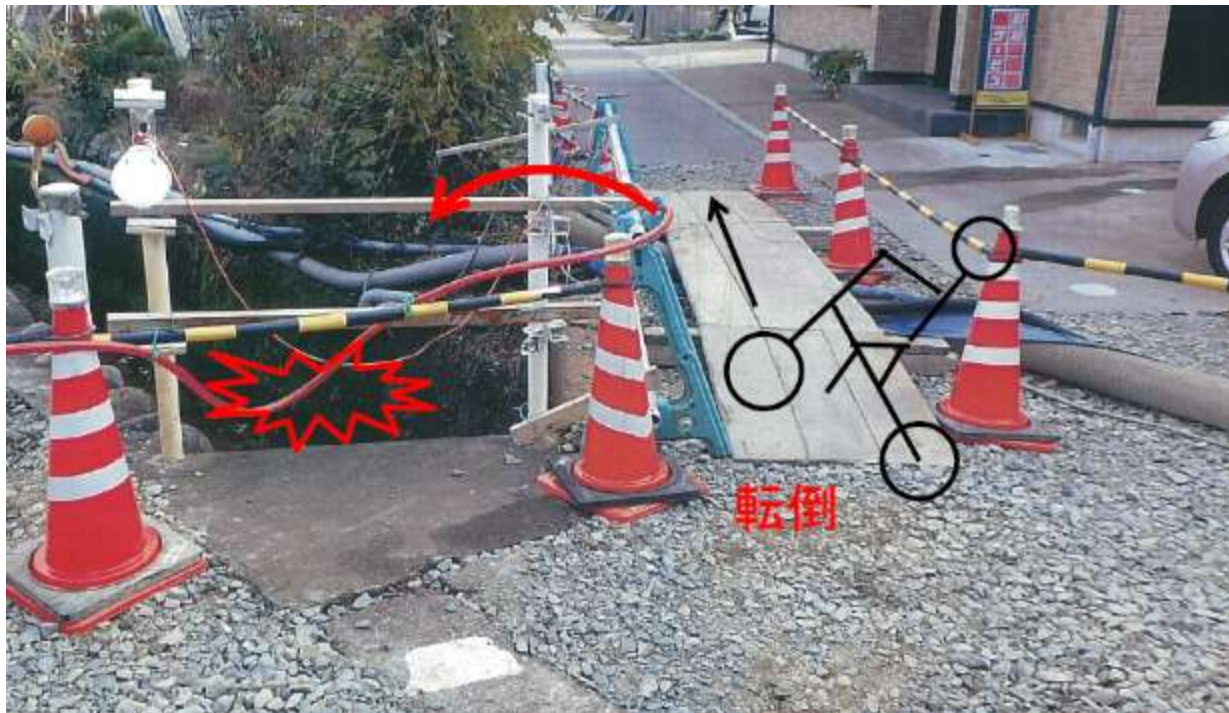
道路上に設置した仮排水パイプを乗り越えるための渡り通路(H=0.8m、W=0.75m)を設置していたところ、通行中の自転車がふらついて転倒し、仮設通路を踏み外して用水路内に転落し負傷した

事故原因：

- ・転落が想定される箇所に固定柵(H=1.2m以上)とせず移動柵(H=0.8m)としていた
- ・自転車の通行を想定せず、歩行者のみの対策としていた

改善対策：

- ・転落が想定される箇所に高さ1.6mのバリケードを設置
- ・幅員を広げて段差を低くし、注意喚起看板を設置



対策後



分類：安全対策、その他

被害状況：用水路内に転落し負傷

平成28年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

【事故概要】

工事担当区間終点の電柱に巻き付け固定していた工事用標識が、休工日に強風により回転し道路側へ突き出したところへ、通行車両のドアミラーが接触し、ドアミラーが破損した。

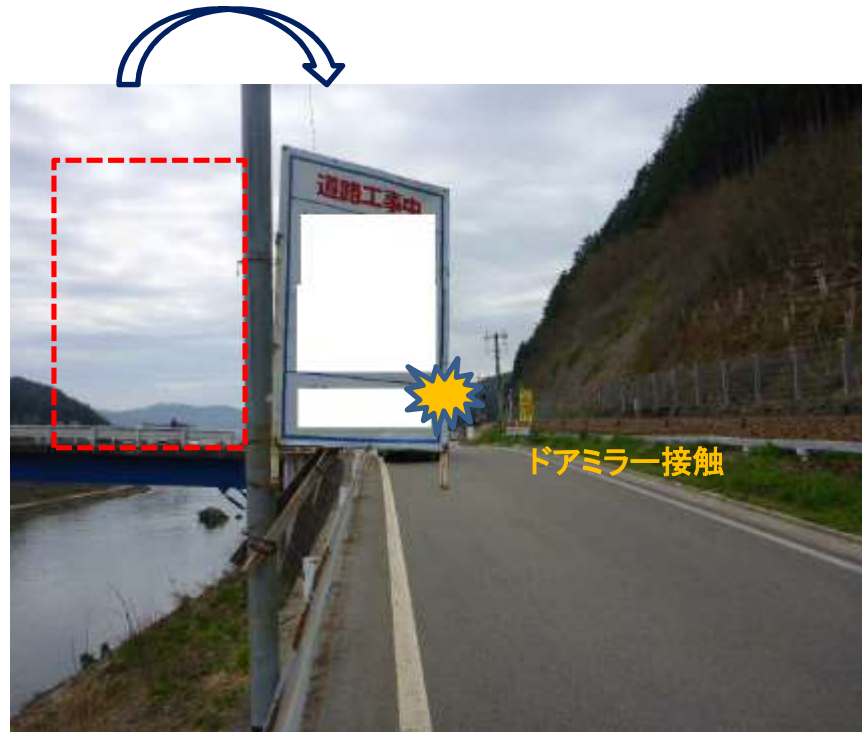
【事故原因】

- ・休日及び異常気象時のパトロール体制の不備
- ・強風により回転しやすい固定方法

【改善対策】

- ・休日及び異常気象時のパトロール体制の整備
- ・強風により回転しないよう固定する

強風により回転



分類:安全対策、その他

被害状況:車ドアミラー破損

令和2年度に建設工事で発生した事故事例（転倒事故）

【事故概要】

道路工事区間にて、歩行者が、夜間に横断歩道を利用せず車道を横断し、車両乗入口から歩道に進入しようとした。その際、誤って閉め切りされた旧歩道に進入し、閉め切りのトラロープに接触転倒した。

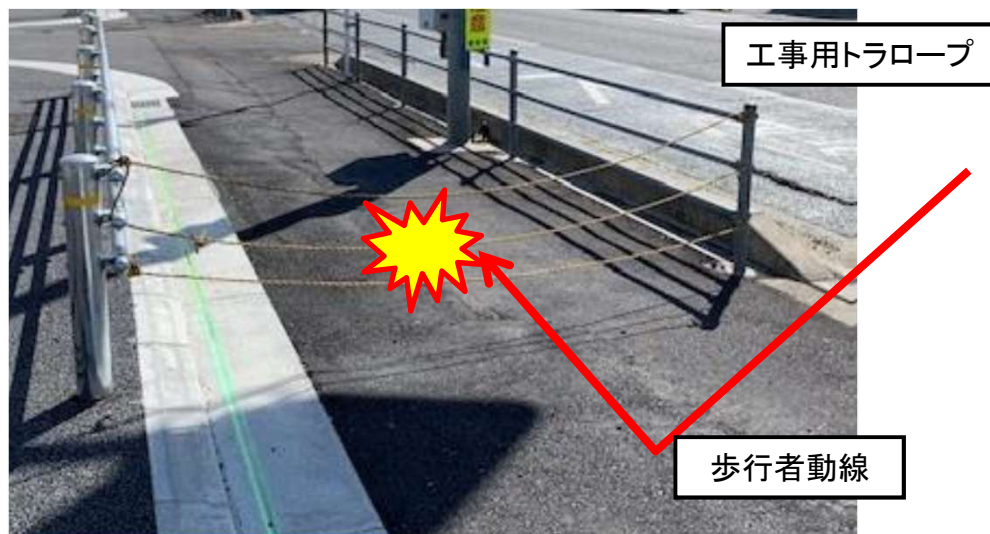
【事故原因】

- ・施工計画書には、第三者の現場内対入り禁止措置として、立入防止柵・単管バリケード等を講じる旨記載していたが、事故発生箇所のみ、資材不足のためトラロープ3段で対応していた。
- ・トラロープには、反射材の取付けはなく、夜間の視認性に問題があった。（通行人の立場に立っていない）
- ・上記について、1週間の間、正規の単管バリケードに置き換えることなく放置していた。

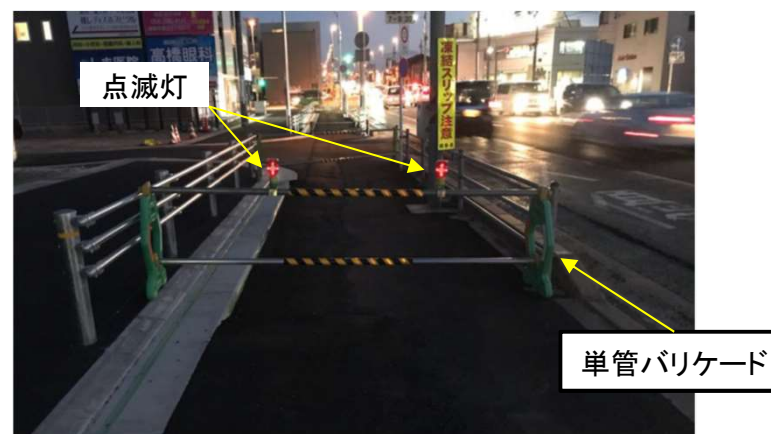
【改善対策】

- ・現場代理人又は安全巡視員による現場パトロールの際に、通行者の目線で安全施設の配置状況を確認し、起こり得る事故の想定や危険箇所がないか点検を行う。
- ・施工現場の安全施設に不備がないか、日常的な点検・管理を徹底して行う。
- ・規制時及び規制解除時における現場内の安全施設の点検パトロールを、現場代理人及び安全巡視員に加え、安全衛生管理者も交えて実施する。
- ・トラロープによる一時的な措置を、本来の点滅灯及び反射材を取り付けた単管バリケードへ変更。

事故現場状況写真



現場改善対策状況



【分類】 安全対策 その他

【被害状況】 一般通行人 1名 怪我はなく所有の携帯電話器破損のみ

令和3年度に建設工事で発生した事故事例（転倒事故）

【事故概要】

ガードレール取替工事において取り外したガードレールにつまずき転倒し、打撲による負傷した。

【事故原因】

- ・移動する際に周囲及び足元の確認を怠った。
- ・現場内の整頓を行わなかったことによる。

【改善対策】

- ・作業員は、常に安全意識を持ち、周囲及び足元確認を行ったうえで移動する。
- ・現場の整頓に心掛ける。
- ・つまずく可能性があるものには、三角コーン等を設置する。
- ・一時的に置かなければいけない場合は、作業員同士で声掛けを行い、注意喚起する。

事故現場状況写真



【分類】安全施設工 その他

【被害状況】 業者人身 25歳 右肘打撲 右大腿打撲傷

令和4年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材事故）

【事故概要】

注意喚起のため設置していた矢印板が、強風のため道路中央付近まで移動し、通過車両が接触破損した。

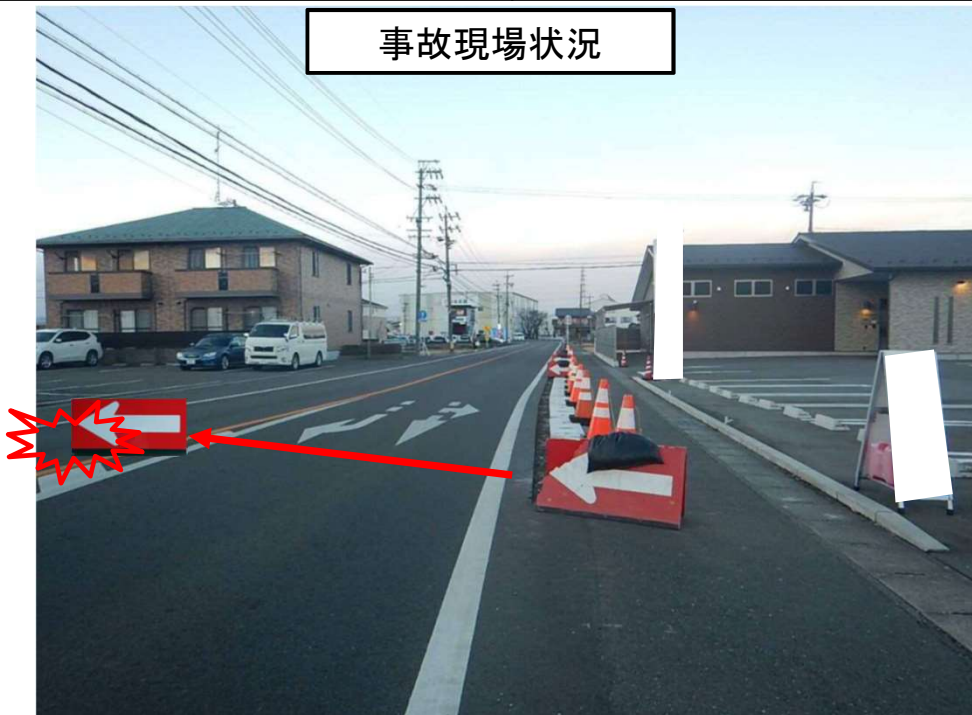
【事故原因】

・風対策として、矢印板上に土のうを設置していたが、矢印板と土のうを一体化していなかったため、土のうがずれ落ちたことが原因。

【改善対策】

・矢印板の中に土のうを置き、カラー番線等で土のうと矢印板を一体化させる。
・強風が予想される場合は、飛散しそうなものは予め撤去し、現場の安全を確保する。
・撤去が困難な場合は、保安施設周辺に杭を打って針金で固定する等の追加の飛散防止対策を行う。

事故現場状況



【分類】安全対策 その他

【被害状況】公衆物損 一般車両バンパー等破損